

生産指数の前月比は2か月連続上昇

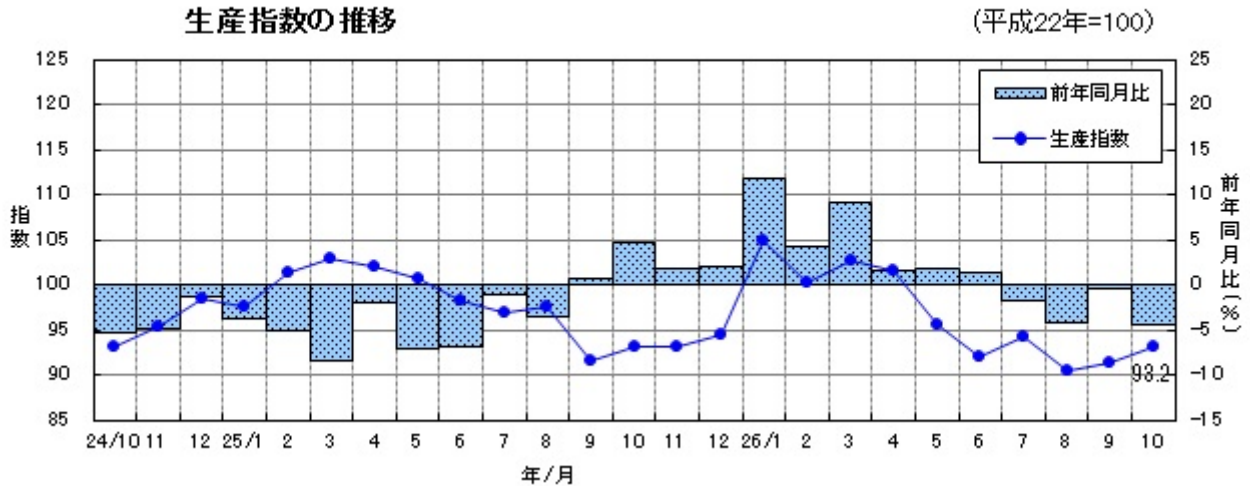
(静岡県鉱工業指数 平成26年10月分速報)

1 生産指数の動き

10月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**93.2**となり、**前月比は2.0%増と2か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比(原指数)は4.5%減と4か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、食料品・たばこ、輸送機械等が上昇する一方、はん用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品、電子部品・デバイス等が低下した。

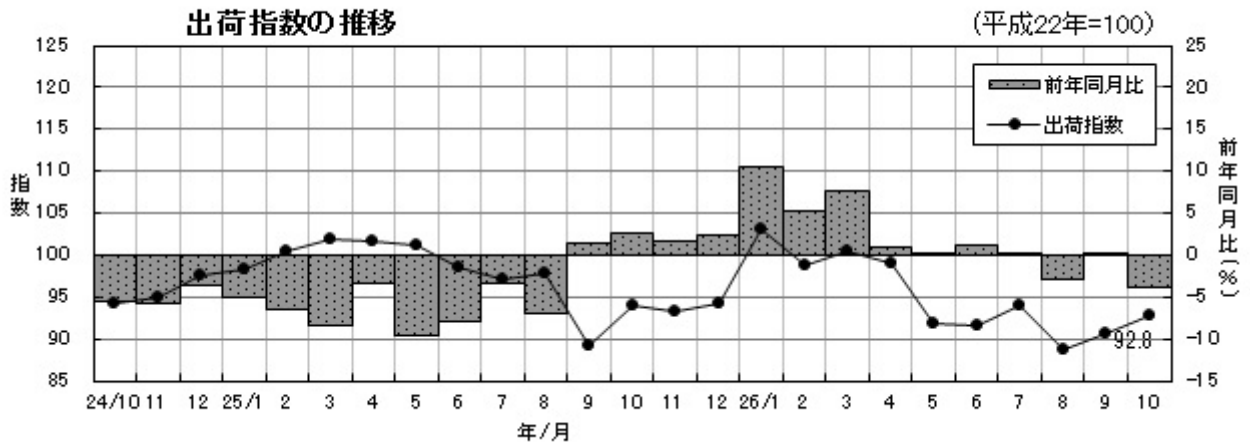


2 出荷指数の動き

10月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**92.8**となり、**前月比は2.3%増と2か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比(原指数)は3.9%減と2か月ぶりに前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、はん用・生産用・業務用機械、化学、非鉄金属等が低下した。

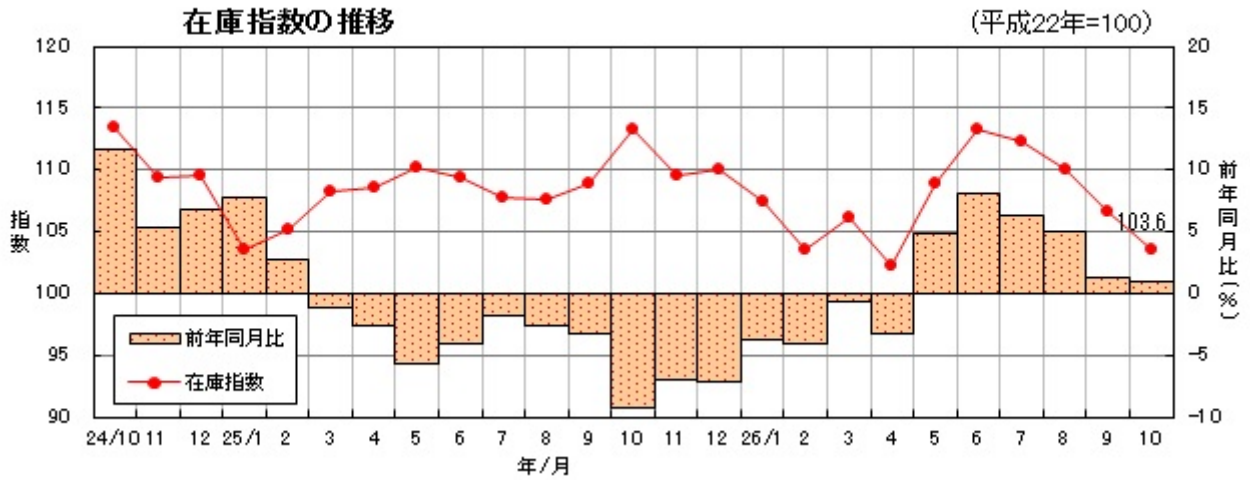


3 在庫指数の動き

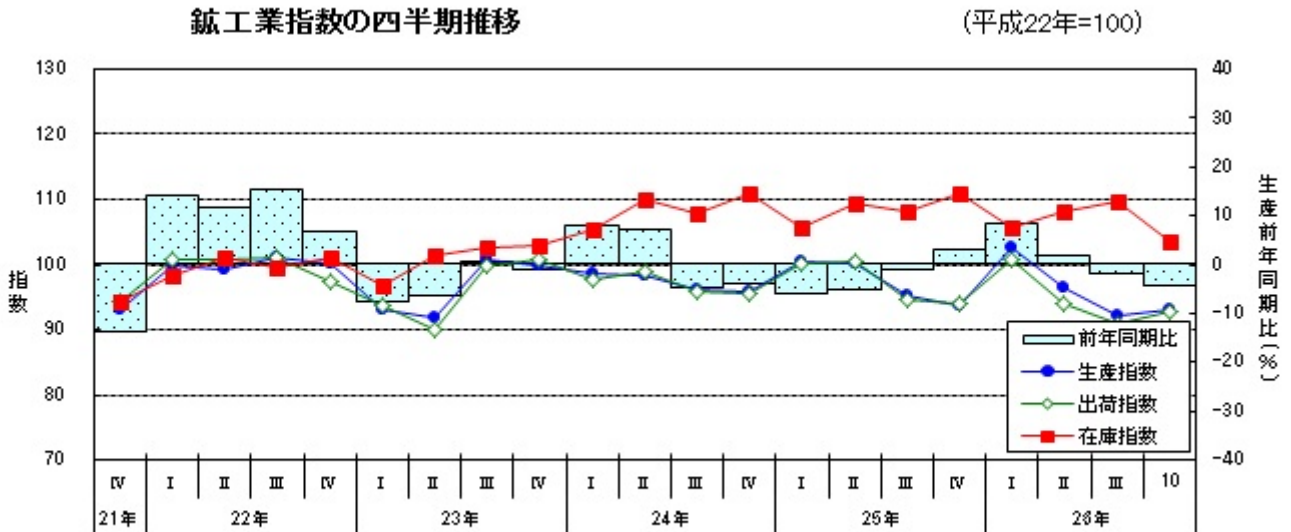
10月の鉱工業**在庫指数**（季節調整済：平成22年=100）は**103.6**となり、**前月比は2.8%減**と4か月連続して低下した。

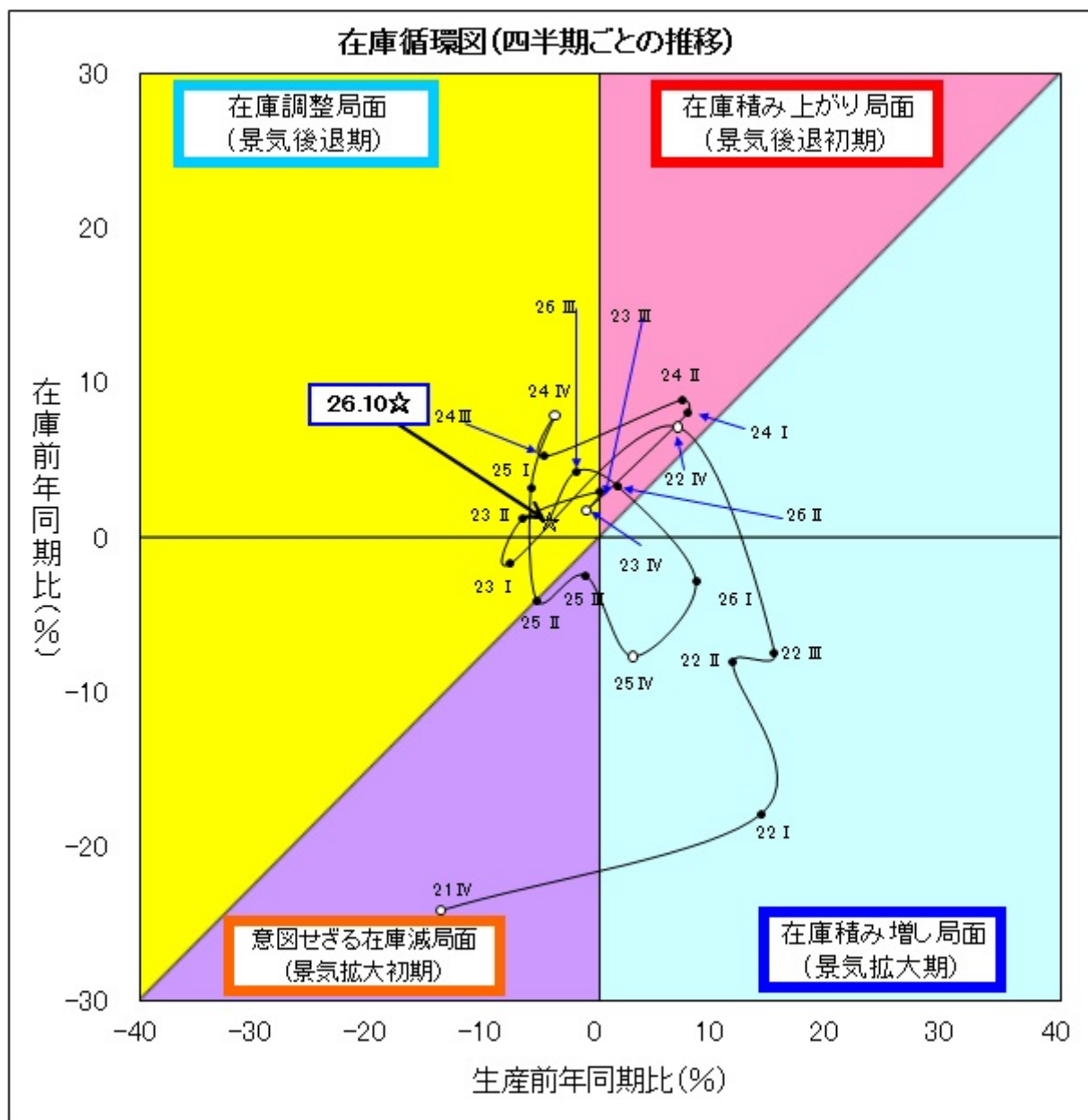
また、**前年同月比（原指数）は0.9%増**と6か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、繊維、窯業・土石製品等が上昇する一方、化学、はん用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今季はここに該当**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。